

令和4年度 事業報告書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

社会福祉法人 上里町社会福祉協議会

令和4年度社会福祉法人上里町社会福祉協議会事業報告

第1 令和4年度事業の概要

地域福祉の充実に向けて策定した「上里町地域福祉活動計画」の評価・検証を行いながら、社会の変化に伴う地域課題と向き合い、町民の皆さまに寄り添った地域福祉活動の展開を図りました。

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化が、人々の暮らしや地域社会に大きな影響を及ぼし、社会的孤立や生活困窮などの福祉課題が深刻化する中、多様な福祉ニーズに対応するために、行政や関係機関と連携しながら丁寧な相談支援に努めました。また、地域住民等の主体的な取り組みと協働しながら、地域の福祉力を高め、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいを持って、支え合いながら暮らすことのできる地域共生社会の実現に向けてさまざまな事業に取り組みました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮をしつつ、5つの重点項目を掲げ、地域福祉部門と在宅福祉サービス部門がワンチームとなり、他機関との連携や地域資源を積極的に活用し、社協の専門性を生かした各種福祉事業を推進しました。

第2 重点項目

1 相談・援助活動及び権利擁護の推進

複合・複雑化する支援ニーズや制度の狭間にある諸問題に対応するため、コミュニティソーシャルワーカーや生活支援コーディネーターが調整役となり、介護、障害、子ども、生活困窮等の分野を問わない包括的相談支援を推進し、伴走型支援の機能強化を図りました。

2 「支え合いの地域づくり」の推進

一人ひとりが地域の中で暮らし続けられるように、住民同士の顔が見える関係づくりを目指して地域課題を把握し、関係機関等と連携しながら、地域住民の参加を主体とした支え合いの地域づくりを積極的に推進しました。

また、福祉活動が地域における多世代の交流や多様な活躍の場となるように推進しました。

3 ボランティアセンターの機能強化

子どもたちに福祉の「種」を芽生えさせる福祉教育や小・中学生を対象にしたボランティアスクール、各種福祉講座等を開催し、住民同士が支え合う福祉の心が育まれる取り組みに注力しました。

また、『上里町地域防災計画』において、災害ボランティアセンターを担う組織として、災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営訓練、災害ボランティア養成講座を実施し、災害時の対応を想定した体制整備を図り、災害ボランティアの育成にも努めました。

4 安心・安全な介護保険事業等の提供

居宅介護支援、訪問介護の事業所では、利用者の健康と安全を守り、暮らしを支える介護専門職として、安心して利用できるサービスの提供とその質の向上に努めました。

5 法人運営の機能強化

公益性と非営利性をもつ社会福祉法人として、住民参加の地域福祉を推進する社会福祉協議会として、関係法令を遵守し、地域住民から信頼を得られる法人運営を行いました。

また、地域福祉事業の自主財源の確保への取組み及び職員の資質向上を行い、実施事業のための体制整備に努めました。

第3 実施事業

(1) 法人運営事業

ア 会務の運営

名 称	開催年月日	内 容
理事会	4年5月27日	事務局規則の変更について 評議員選任・解任委員の選任について 評議員選任・解任委員会の開催について 評議員の推薦について 評議員会の開催について 令和3年度事業報告について 令和3年度収入支出決算について 理事の選出について
	4年6月21日	副会長の選定について 監事の選出について 評議員会の開催について
	4年8月10日 (書面)	評議員選任・解任委員の選任について 理事の選出について 評議員への提案方法について
	4年8月30日	常務理事の選定について
	4年12月21日	ヘルパーステーション居宅介護等運営規程の変更について 表彰規程の変更について 令和4年度収入支出補正予算について 評議員会の開催について

名 称	開催年月日	内 容
理事会	5月2月14日	第22回上里町社会福祉大会における社協会長表彰者及び感謝状贈呈者の選考について
	5年3月22日	会員規程の変更について 経理規程の変更について 役員等賠償責任保険の契約について 令和5年度事業計画について 令和5年度収入支出予算について 評議員会の開催について
評議員会	4年6月20日	事務局規則の変更について 理事の選任について 令和3年度事業報告について 令和3年度収入支出決算について
	4年7月29日	監事の選任について
	4年8月29日 (書面)	理事の選任について
	5年1月10日	ヘルパーステーション居宅介護等運営規程の変更について 表彰規程の変更について 令和4年度収入支出補正予算について
	5年3月30日	会員規程の変更について 経理規程の変更について 令和5年度事業計画について 令和5年度収入支出予算について
監査会	4年5月17日	令和3年度事業報告及び令和3年度収入支出決算の監査について
評議員選任・解任委員会	4年6月7日	評議員の選任について
社協支部三役会	4年7月25日	令和4年度補助金交付について 令和4年度事業(各支部)について 地域支え合い活動について 意見交換
歳末たすけあい配分委員会	4年12月21日	募金実績額の配分について 慰問方法について

名 称	開催年月日	内 容
社会福祉大会 運営委員会	4年12月21日	実行委員について 実施要項について 表彰について
	5年2月14日	大会宣言について

イ 第22回上里町社会福祉大会

福祉に功績のあった方々の表彰及び町民の福祉に対する理解と関心を高め、地域福祉の一層の推進を図るため、3月4日（土）ワープ上里において、第22回上里町社会福祉大会を開催しました。

- ・式典（大会宣言、表彰等：表彰者57名、感謝状贈呈者1名15団体）
- ・事業発表（子ども食堂について：明正会）
（生活支援体制整備について：賀美安心サポートの会）
- ・アトラクション（ピアニストの文 讚公(ムン チャンソン)による演奏)
（大道芸人6名によるパフォーマンス）
- ・ボランティア団体及び福祉施設等の紹介展示
- ・模擬店（お菓子つかみ取り・スーパーボールすくい・輪投げ等）

ウ 調査・広報活動

ホームページ、フェイスブックで随時の情報発信、町広報紙への記事掲載等で、情報提供や活動報告を行い、社協をはじめ、ボランティアセンター、ヘルパーステーションのPRを行いました。

また、民生委員・児童委員のご協力により、ひとり暮らし高齢者等の社会調査(ひとり暮らし高齢者見守り台帳の更新)を実施しました。

エ 社協支部事業の推進

例年、小学校区単位に組織された5つの社協支部が、それぞれの地域に根ざしたきめ細かな各種福祉事業を実施しました。

- ・ひとり暮らし高齢者見守り活動(5支部)
- ・児童の下校見守り活動(長幡) 他

オ 在宅高齢者等紙オムツ配付事業

町内在住で在宅の紙オムツ利用者(高齢者等)を対象に、民生委員・児童委員のご協力により、9月に紙オムツを配付しました。

(配付人数 151名)

カ アスポート相談支援事業への協力

アスポート相談支援センターと協働し、生活困窮者の相談に応じ、自立に向けての支援を行いました。

キ 福祉サービス利用援助事業 埼玉県日常生活自立支援事業(通称：あんサポ)

判断能力が十分でない方々（認知症高齢者、精神障害者、知的障害者等）が、地域で自立した生活が送れるよう、日常的な金銭管理や重要書類の預かりサービス等を行いました。（実施件数 新規利用 5名、継続利用 3名、解約 1名）

ク 彩の国あんしんセーフティネット事業の推進

町内福祉施設と協働し、生活困窮に陥った方を救済する事業です。訪問・相談等を行い、経済的援助(食料の現物支給(購入費支援)等)や利用できる制度の紹介等、自立に向けた支援を行いました。（相談4件、支援件数1件（電気代・ガス代））

ケ フードバンク事業

生活困窮者に対し緊急的に食料を提供し、当座の生活を維持するための取り組みを行いました。

物資は、町民からの寄付、彩の国あんしんセーフティネット事業からの提供や歳末たすけあい事業の一環として町社協として食料購入を行い、事業の強化を図りました。

令和2年5月より開始しました新型コロナウイルス感染症の影響で減収となっている世帯への食料支援については、令和4年12月末を以て終了させていただきました。（食料支援件数 延べ131世帯）

内訳：通常支援・・・延べ123世帯、新型コロナでの支援・・・延べ8世帯

コ 社協会員会費募集

区長・地区役員・町民等のご協力により、募集期間である8月を中心に社協会員会費募集の推進を行い、多くの皆さまから会費を納入いただきました。

令和4年度社協会員会費実績

区分	賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
普通（件）	1,109	1,043	1,536	2,513	1,330	7,531
特別（件）	6	4	21	22	35	88
会員合計（件）	1,115	1,047	1,557	2,535	1,365	7,619
会費合計（円）	560,500	525,500	789,000	1,278,500	700,000	3,853,500
寄付（円）	0	0	0	3,000	700	3,700
総計金額（円）	560,500	525,500	789,000	1,281,500	700,700	3,857,200
加入率（％）	72	90	74	67	67	72

(2) 地域福祉活動事業

ア スマイル訪問事業

民生委員・児童委員の見守り活動の一環として、一定の要件を満たす 70 歳以上のひとり暮らし高齢者宅へ、日用品等を持参しながら、3 か月に 1 回の訪問と声かけを行っていただきました。

(延べ訪問者数：1,298 名、1 回あたり平均訪問者数 325 人)

イ ふれあいサロン設置の推進

地域の高齢者や住民等が気軽に集い、交流や健康増進の場を提供するふれあいサロンの設置を地域住民等に呼びかけて積極的に推進し、活動を支援していくことで更なる充実を図っていますが、今年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動休止を余儀なくされるサロンが多数ありました。地域のつながりを絶やさないため、感染対策を徹底し、20 サロン（新規サロン 2 カ所を含む）のうち、11 サロンで事業が実施されました。

ウ 福祉機器等貸出サービス

一時的に福祉機器(車イス・杖・シルバーカー等)が必要な個人及び団体に、無料で貸し出しを行いました。

(延べ貸出数： 車イス 62 台 ・シルバーカー 2 台 ・アイマスク 67 枚 ・携帯用点字機 94 枚)

エ ねたきり高齢者等介護用電動ベッド貸与事業

一時的に介護用ベッドが必要な高齢者等に無料で最長 6 ヶ月間介護用電動ベッドの貸与を行いました。(貸与件数 4 件)

オ フードドライブキャンペーン・フードパントリー事業

10 月から 11 月までをキャンペーン期間とし、広く町民や企業に呼びかけ、食品の寄付を募りました。集まった食品等を活用するとともに、ひとり親家庭・新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮している世帯を対象とし、パントリー事業（食品等の配布）を行いました。

- ・ 8 月 7 日（日）『フードパントリー』（121 世帯、延べ 424 名に配布）
- ・ 12 月 25 日（日）『年末フードパントリー』（112 世帯、延べ 380 名に配布）
- ・ フードドライブキャンペーン中に集まった食品…482 点、約 150kg

カ 生理用品配布事業

様々な事情により生理用品の用意が困難な方に、1 人 1 パック（22 個入り）の生理用品の窓口配布及びフードパントリー利用者へ配布を行いました。また、町内の小中学校にも配布し、保健室又はトイレへの生理用品の配備を依頼しました。

- ・ 窓口等配布数：138 パック
- ・ 小中学校配布数：186 パック

キ 小型生活家電寄付受付及び払い出し

家庭で不要となった使用可能な炊飯器等の小型生活家電を募り、困窮し購入が困難な家庭に払い出しを行いました。

- ・寄付受付件数…炊飯器：2点、電子レンジ1点、電気ポット：1点、掃除機：2点
 その他（オーブントースター等）：7点　計13点
- ・払い出し件数…炊飯器：5点、電子レンジ4点、電気ポット：4点、掃除機：2点
 その他（オーブントースター等）：9点　計24点

(3) ボランティアセンター事業

ア ボランティア登録

- ・個人(技術・労力・事業協力等) 26名
- ・団体(") 38団体(1,445名)

イ ボランティア問い合わせ・相談・活動協力

- ・受付件数 265件
- ・ボランティア一般 145件
- ・ボランティアグループ支援 39件
- ・福祉教育関係 23件
- ・その他 58件

ウ 寄付

(物品)・個人	13件	(寄付金)・個人	6件
・団体	20件	・団体	15件
・企業	11件	・企業	4件
・寄付BOX	20件		

エ 収集リサイクル活動

町民・団体等のご協力により、使用済切手、使用済みインク、エコキャップ等を収集し、収集団体(福祉施設や関係機関)に送付しました。

オ 傾聴講座

ボランティアや日常生活等に活用できる基礎的な傾聴技術について学び、今後の活動に役立てていただくため、12月19日(月)に講座を開催しました。(受講者数 19名)

カ はじめての手話体験教室

聴覚障害への理解を深め、仕事や日常生活の場面で活用できる簡単な手話表現を学ぶため、1月20、27日、2月3、10、17日に講座を行いました。(受講者数 17名)

キ 夏のボランティア体験プログラム

気軽にボランティア活動に参加できるきっかけづくりのため、高校生以上を対象とした介護施設及び保育園でのボランティアの体験プログラムを実施しました。

・7月25日(月)～8月31日(水)

(参加者数 延べ25名)

ク 小中学校福祉体験教室への協力

総合的な学習の一環として、児童・生徒の福祉への理解や関心を高めてもらうため、今年度は長幡小、七本木小、上里東小、上里北中で開催された福祉体験教室に協力、ボランティアを講師として派遣しました。(派遣回数 5回、参加児童数 268名、派遣者数 38名)

ケ 小・中学生のボランティアスクール

小・中学生を対象に、福祉の体験を通して思いやりの心を育て、実生活においても思いやりの心を持って行動できるように体験学習を開催しました。

今年度は8月1日に手話体験、8月3日に紙芝居・パネルシアター体験を行いました。(延べ参加者数 32名)

コ 福祉協力校事業の推進

福祉教育の推進を図るため、町内の小・中学校への福祉活動に対する助成を行いました。(助成金 小学校 30,000円/校、中学校 40,000円/校)

サ 平和への思いをつむぐ町民のつどいへの協力

ウクライナのユルスキ駐日大使の来訪をきっかけに、ウクライナ避難民支援のための募金活動を、上里町ボランティア連絡会協力のもと、2月19日(日)に実施しました。町内の商業施設等で寄付を募り、町内外問わず、多くの方にご協力をいただきました。

集まった寄付金は、2月23日(木)に実施された「平和への思いをつむぐ町民のつどい」の式典内で、ユルスキ駐日大使に目録が贈呈され、ウクライナ避難民を支援する活動に役立てられることになりました。

シ 災害ボランティアセンターの運営

災害時に地域住民やボランティアの力を被災者に繋ぎ、地域の復興に取り組む「災害ボランティアセンター」の運営に協力できる担い手を養成するため、11月26日(土)、災害ボランティア養成講座を行いました。(参加者 23名・うち災害ボランティア登録者 4名)

また、3月18日(土)には、町民及びボランティア、町職員、社協職員の参加のもと、実際に水害を想定し、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を行いました。(参加者 27名)

(4) 相談事業

ア 心配ごと相談

毎月第三木曜日、午後 1 時 30 分から午後 3 時まで、上里町福祉町民センター研修室において、民生委員・児童委員が町民の日常生活の悩みや心配ごとに対して相談にあたる心配ごと相談を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 4 年 4 月の相談業務は休止としました。(相談件数 11 件)

イ 弁護士による無料法律相談

事前予約制で年 6 回、5 月 25 日(水)、7 月 21 日(木)、9 月 22 日(木)、11 月 22 日(火)、1 月 25 日(水)、3 月 14 日(火) 午後 2 時 15 分～午後 4 時 15 分(1 人 30 分)、弁護士による法律に関する相談を受け付け、問題解決に向けた指導助言を行いました。(相談件数 24 件)

(5) 資金貸付事業

上里町社会福祉協議会福祉資金貸付事業：低所得世帯の生活援助のため、福祉資金の貸付相談を行いました。
(相談件数： 7 件、うち貸付件数 7 件、貸付金額 232,000 円)

(6) 愛の福祉基金事業

国が提唱する地域福祉基金の趣旨を踏まえ、高齢者社会に対応するための基金として積み立てしているものです。

この基金運用から生ずる運用益については、他の補助事業対象とならない在宅福祉等の普及・向上・健康生きがいつくり事業、ボランティア活動の活性化等のため、社協の事業の実状に即して運用することが出来るものです。

(令和 4 年度積立額：10 万円)

(7) 生活福祉資金貸付事業

ア 埼玉県社会福祉協議会生活福祉資金貸付制度(通常分)

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯へ緊急小口資金貸付の申請受付を行いました。

・緊急小口資金 (上限：10 万円)

(相談件数： 26 件、うち申請件数 1 件、貸付決定金額 89,000 円)

イ 埼玉県社会福祉協議会生活福祉資金貸付制度（特例分）

新型コロナウイルス感染拡大の影響による減収世帯への緊急小口資金特例貸付及び総合支援資金特例貸付の申請受付を行いました。なお、令和4年9月末をもって特例貸付の受付は終了となりました。

緊急小口資金（上限：20万円）

申請件数：28件（うち外国人5件、うち日本人23件）

追加申請件数：1件（うち外国人0件、うち日本人1件）

総合支援資金（上限：1人世帯15万円×3ヶ月、2人以上世帯20万円×3ヶ月）

申請件数：25件（うち外国人8件、うち日本人17件）

（問い合わせ件数 13件、相談件数 42件、申請件数 54件）

(8) 高齢者等支え合いサービス事業（高齢者等生活応援隊）

上里町と委託契約を締結し、買い物、掃除、調理、庭の手入れ等の日常生活上の援助を希望するひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等を対象に、協力会員を派遣する事業を行いました。

- ・通常のサービス：1時間あたり商品券1枚
- ・短時間サービス：10分以内の作業を同月内5回までの利用で商品券2枚

※商品券 [商工会が発行する商品券(額面500円)]

(延べ利用時間 603時間、延べ利用者数 466名)

※利用会員登録者数 94名、協力会員登録者数 59名

(9) ファミリー・サポート・センター事業

上里町と委託契約を締結し、子育て中の保護者の日常生活を支援するため、子どもの預かりや送迎等のサービスを行うセンターの運営を行いました。11月には提供会員等を対象に、乳幼児救命救急講習等の研修会を開催しました。(参加者 6名)

- ・対象：小学校6年生まで
- ・利用料：平日午前7時～午後7時 700円/時間
平日上記以外の時間 800円/時間
土日祝日及び年末年始 800円/時間

(活動件数 118回、活動時間 196時間)

※依頼会員 43名、提供会員 24名、両方会員 4名

(10) 生活支援体制整備事業

上里町と委託契約を締結し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくにあたり、モデル地区である賀美小地区において、ちょっとした困りごとを住民同士で支え合う組織「賀美安心サポートの会」が令和3年度より活動を開始しています。

この取り組みを他の小学校区にも広げていくために、生活支援コーディネーターが地域支え合いの仕組みづくりを支援しています。令和4年度は、社協神保原支部組織員を対象に、6月25日、8月8日、9月14日、12月19日の計4回に渡り意見交換会を開催。2月には日常生活の困りごとおよび担い手を把握するため、神保原小地区にお住まいの18歳以上を対象に「地域支え合い活動に関する住民アンケート調査」を実施しました。その集計結果を3月に社協神保原支部組織員に報告するとともに神保原小地区全世帯に配布しました。

(11) 老人居宅介護等事業

介護保険法に基づき、要介護、要支援及び事業対象者の認定を受けた利用者宅へ訪問介護員を派遣し、身体介護や日常生活全般の援助を行うヘルパーステーションの運営を行いました。

ア 要介護(介護給付)

平均利用者数 16.2名、延べ訪問件数 2,010件、延べサービス時間 2,490.8時間

イ 要支援・事業対象者(総合事業)

平均利用者数 10.4名、延べ訪問件数 715件、延べサービス時間 715時間

(12) 居宅介護支援事業

在宅介護や在宅生活に関する相談援助、居宅サービス計画(ケアプラン等)の作成、介護サービス提供事業者との連絡調整等を行う居宅介護支援センターの運営を行いました。また、介護予防把握事業を町より受託し、支援を要する高齢者等を早期発見するため、個別訪問による実態把握を行いました。

ア ケアプラン

延べ作成件数 620件、利用者実人数 70名

イ 介護予防ケアプラン・ケアマネジメント業務

延べ作成件数 265件、利用者実人数 27名

ウ 介護予防把握事業

延べ訪問件数 31件

(13) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づき、居宅介護の受給資格を認定された利用者宅へ訪問介護員を派遣し、身体介助や家事援助及び生活等に関する相談並びに助言その他の必要な日常生活上の支援を行いました。

平均利用者数 12.6名、延べ訪問件数 2,316件、延べサービス時間 2,020時間

(14) 日赤埼玉県支部上里町分区事業

ア 日赤活動資金募集の推進

区長・地区役員・町民等のご協力により、募集期間である5月を中心に日赤活動資金募集の推進を行い、多くの皆さまから資金(会費)を納入いただきました。

令和4年度日赤活動資金募集実績額

(単位:円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
518,200	173,100	631,000	667,700	652,900	2,642,900

イ 赤十字奉仕団活動の協力

日赤講習会の開催

・「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」

新型コロナウイルスの流行によってもたらされる「病気(新型コロナウイルス)」「不安・恐れ」「差別」といった負の連鎖を知り、その連鎖を断ち切るための具体的な考え方や行動に学びました。

(参加人数 17名)

(15) 埼玉県共同募金会上里町支会事業

ア 赤い羽根共同募金

区長・地区役員・町民等のご協力により、募集期間である10月を中心に赤い羽根募金の推進を行い、多くの皆さまから募金をいただきました。

令和4年度共同募金(赤い羽根募金)実績額

(単位:円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
496,260	298,000	670,920	566,500	573,800	2,605,480

イ 歳末たすけあい募金(歳末たすけあい運動)

新たな年を迎える時期に、町民の福祉向上を目指し、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう、関係機関と協働し、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、各種福祉事業に取り組みました。

この歳末たすけあい運動の財源とするため、区長・地区役員・町民等のご協力により、運動時期である12月を中心に歳末たすけあい募金の推進を行い、多くの皆さまから募金をいただきました。

令和4年度共同募金(歳末たすけあい募金)実績額

(単位:円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	特別募金	合計
461,850	334,600	590,510	575,610	474,020	7,110	2,443,700

ウ 歳末たすけあい募金配分金事業

区分	慰问数	内容等	配分金額
困窮世帯	43世帯	慰问金配付(10,000円/世帯 家族1名増につき3,000円増額)	493,000円
在宅高齢者等	137人	紙オムツ等配付	772,891円
町内福祉施設	25施設	みかん配付(61箱)	230,580円
生活困窮者支援用食糧購入		米・缶詰等長期保存可能食品	145,702円
災害ボランティアセンター用機器購入		災害ボランティアセンター用ベスト	53,460円
		災害ボランティアセンター用備品購入費	200,144円
社協だより発行代		町民への事業報告・収入報告等	60,000円
合計			1,955,777円

※2,443,700円－1,955,777円＝487,923円

(募金実績額) (配分金額) (残額)

残額487,923円は、埼玉県共同募金会へ送金し、上里町分として次年度へ繰り越し。

令和4年度事業報告書の附属明細書

令和4年度事業報告書の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。